

採用基準設定レポート

企業名：株式会社テスト3

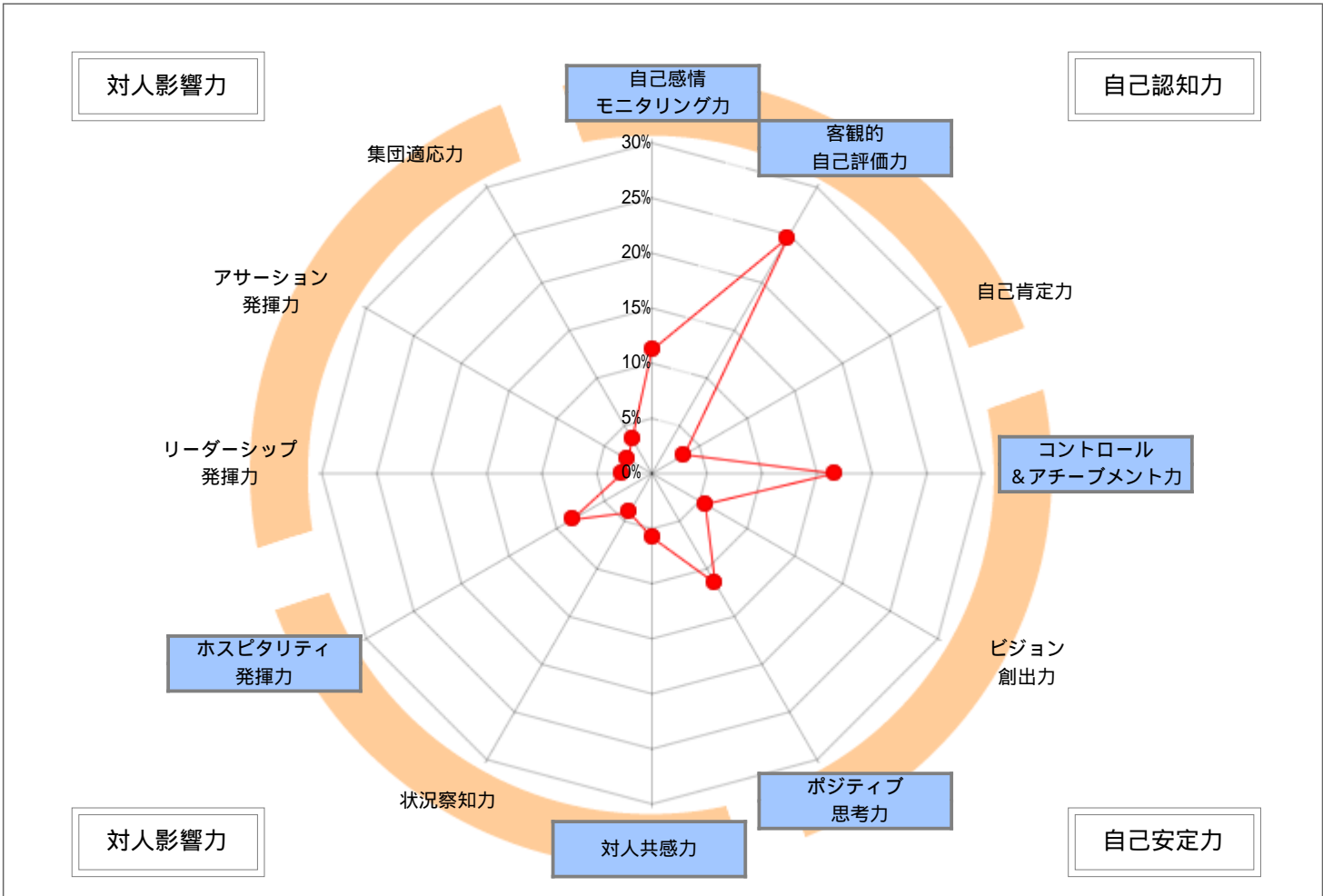
受検日	2012/11/23	受検者ID	h1a	氏名	伊野 太郎(いの たろう)	年齢	38
-----	------------	-------	-----	----	---------------	----	----

[1] 採用職種 貴社の部下として必要な行動価値は下記となります。

[2] 4領域の重要度

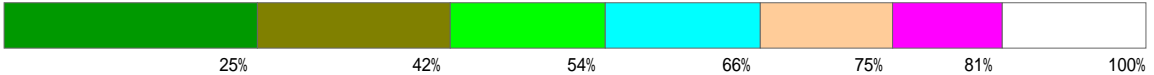
	スコア	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	
自己認知力	39.3%								
自己安定力	33.7%								
対人認知力	18.3%								
対人影響力	8.8%								

[3] 12要素の重要度



[4] 重要度の高い上位6要素

要素名	1	2	3	4	5	6
客観的 自己評価力	25%	17%	12%	12%	9%	6%
コントロール & アchievement力						
ポジティブ 思考力						
自己感情 モニタリング力						
ホスピタリティ 発揮力						
対人共感力						





採用基準設定レポート

企業名：株式会社テスト3

受検日	2012/11/23	受検者ID	h1a	氏名	伊野 太郎(いの たろう)	年齢	38
-----	------------	-------	-----	----	---------------	----	----

バリュ - ファインダーについて

この検査は組織で仕事をしていく上で、必要だと考えられる12の要素を、強制選択法という手法を用いて順位付け、「採用職種に必要な領域・要素の順位」を可視化しています。

結果の解説

採用職種について

採用職種により、重要な領域・要素の順位が変化する可能性があるため、職種を記載しています。

4領域と12要素について

12の要素は4領域に分かれ、それらは大きく「対自分」と「対他者」の2つに分けられます。各領域・要素の重要度をパーセントで表しており、重要な領域・要素ほど、パーセントの数値が高くなります。

4領域の測定内容

各領域の測定内容は下記となります。

対自分	1. 自己認知力	自分を適切に認識する力
	2. 自己安定力	自分をコントロールする力
対他者	3. 対人認知力	他者の立場や感情を適切に認識する力
	4. 対人影響力	他者を巻き込み、組織で目標を達成する力

12要素の測定内容

各領域の構成要素と、各要素の測定内容は下記となります。

1 自己認知力	自己感情モニタリング力	自分自身の感情を認識すること
	客観的自己評価力	自分自身の得手不得手を客観的に評価すること
	自己肯定力	自分自身に価値があると自信を持つこと
2 自己安定力	コントロール&アチーブメント力	不快な事態・不利な状況にも我を忘れず、粘り強く頑張り続けること
	ビジョン創出力	目標に対して、高いレベルで完遂する決意を持つこと
	ポジティブ思考力	新しい環境や、望ましくない状況の変化に対して、柔軟で楽観的に適応すること
3 対人認知力	対人共感力	不快な事態・不利な状況にも我を忘れず、粘り強く頑張り続けること
	状況察知力	目標に対して、高いレベルで完遂する決意を持つこと
	ポジティブ思考力	新しい環境や、望ましくない状況の変化に対して、柔軟で楽観的に適応すること
4 対人影響力	リーダーシップ発揮力	集団の目標達成、および集団の維持・強化のために効果的な行動をとること
	アサーション発揮力	自分の要求や主張を他者の利益にも配慮しつつ、効果的かつ論理的に他者に提示すること
	集団適応力	仲間との良好な関係を保つこと